

【人体の構造と機能及び疾病】

- 1 脳や感覚器官は、() 歳頃までに急激に成長し、身長や体重は、緩やかな () 字カーブを描いて成長する。
- 2 リンパ系組織が成長のピークとなるのは、() 歳頃である。
- 3 体重が出生時の2倍になるのは、出生後 () カ月頃である。
- 4 乳歯は () 本で、生え揃うのは、生後約 () 歳頃である。
- 5 右心室から () 脈を通過して、() 血が肺に送られる。
- 6 () 血は、左心室から、() 脈を通過して身体に送られる。
- 7 小腸は、十二指腸、空腸、() から成る。
- 8 大腸は、盲腸、()、直腸から成る。
- 9 膵臓のランゲルハンス島にあるα細胞は、() を分泌する。
- 10 大脳の後頭葉は、() 中枢である
- 11 脳幹は、上部から ()、橋、延髄の順に並んでいる。
- 12 副交感神経は、消化管の運動を () する。
- 13 高齢者の血圧は、() 期血圧が上昇する。
- 14 高齢になると、体重から体脂肪量を差し引いた、徐脂肪体重が () する。
- 15 加齢による聴力の低下は、() 音から始まる。
- 16 フレイルとは、高齢者の健常と要介護の中間に位置する () な状態である。
- 17 脱水になると、脈拍数が () する。
- 18 ICF は、障害を、() との関係性から捉えている。
- 19 ICF の背景因子のなかには、環境因子と () 因子がある。
- 20 ICF では、「課題や行為の個人による遂行のこと」を、() という。
- 21 ICF では、「生活・人生場面へのかかわりのこと」を () という。
- 22 病気にならないように予防することを () 次予防という。
- 23 アルマ・アタ宣言では、() の重要性が示された。
- 24 () では、ヘルス・プロモーションが提唱された。
- 25 分娩時の高酸素血症は、() 網膜症の原因になる
- 26 後天性免疫不全症候群による免疫機能障害は、() 障害に該当する。
- 27 がんは、近年の死因の第 () 位である。
- 28 大うつ病性障害の診断には、「() 気分」あるいは「興味又は喜びの喪失」のいずれかの症状があることが要件となっている。
- 29 自閉症スペクトラムは、() 的・反復的な身体の運動や物の使用、同一性への固執、こだわり、コミュニケーション障害などがみられる。
- 30 温熱療法、電気療法などの物理療法は、() 療法に含まれる。